

## 事業目的・背景・課題

- 持続可能な観光に世界的な関心も高まる中、インバウンドの回復と国内交流拡大の双方を支え、我が国が旅行先として選ばれるためにも持続可能な観光推進は喫緊の課題。
- 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の実践を通じた観光GXや自然環境・地域資源の保全・活用等に関する取組を推進し、国際認証の取得等を通じたモデルケースを創出するとともに、地域の持続可能な観光計画の策定を支援する。

## 事業内容

※②は令和6年度より追加

①【調査事業】地方公共団体等が地域の観光関係者と連携し、観光地のGX化や地域の自然・文化・生業等の保全・活用の推進等、地域の持続可能性の向上に資するモデル実証を行う。

(モデル実証を行う想定テーマ)

- ・観光GXの推進（交通マネジメントや再生可能エネルギーの活用等）
- ・地域の自然・文化・生業等の保全、活用の推進
- ・廃棄物ゼロ・自然環境保護の取組
- ・地域の持続可能性を支える仕組みの推進  
(入域料の徴収や、旅行者のマナー意識の向上等) 等

## 事業イメージ

### 観光GX・混雑防止



マイカー規制・  
新たな交通モードの導入

### 地域資源(文化・伝統等)の活用



伝統的な町並みの保全のための  
歴史的資源の活用・収益化

## 地域の持続可能な観光計画の策定



日本版持続可能な観光  
ガイドライン  
(JSTS-D)

国際認証・表彰

- ・グリーンデスティネーションズ
- ・ベストツーリズムビレッジ



②【補助事業】地域における持続可能な観光計画の策定を支援する。

(主な要件)

- ・JSTS-Dを活用した観光計画であること（観光庁が提供するJSTS-D研修を受講すること）

## 事業スキーム

①事業形態：直接事業 ※対象：JSTS-Dのロゴ提出認定を受けている、又は認定に準ずると認められる地方公共団体・DMO等

②事業形態：直接補助事業（補助率 1/2、上限250万円）  
補助対象事業者：地方公共団体、DMO 等

事業期間：令和4年度～